

静岡市 自治会・町内会活動 見直しガイドBOOK

～会議・行事・活動編～

保存版

自治会・町内会で保存して
引き継いでお使いください

社会が多様に変化している今、自治会・町内会も見直しが必要です。しかし、いざ見直そうとすると、大小様々なことが浮かんできます。今回は、見直しのしやすい会議と行事・活動についての情報をまとめました。自治会・町内会の活動は、地域によって大きく異なります。参考にできそうな内容を選び、地域活動にお役立てください。



運営の見直しをしたい会長は多い

今後見直しを実施したい取組

R2静岡市全自治会アンケートより



活動や運営の見直しをしたい自治会会長は多いです。みなさんが大変なら、次の方も大変です。スムーズな引継ぎには、活動や運営の見直しが欠かせません。見直したい内容の多くは、外部との調整が必要ない、地域内で見直すことが可能な内容です。取り組みやすいところから進めるのがポイントです。



「見直し」は「やめること」ではない

見直しは現状の把握から

多くの自治会は長年、「続けること」を目的として活動してきました。適正化を行ってこなかったため、変化をすることが、あまり得意ではありません。

現在、人口減少や高齢化、価値観などの変化が早いスピードで起きています。変化の激しい時代においては、以前と同じことを続けることのほうが、大変なこともあります。現状を把握し、何が問題なのかを知ることから始めましょう。役員や住民とともに、現状を書き出すだけでも見えてくることは多いです。見直しを行うことで、住民の地域活動への理解が深まることもあります。

見直しを実施したい主な理由に「活動の負担軽減」があります。負担軽減だけを目的にすると、様々なことをやめることになりがちです。適正化には、時にはやめたり減らしたりすることも必要ですが、やめることで今まであったつながりがなくなったり、楽しみが失われたりすることもあります。やめる前に他の方法がないか確認することは必要です。やめた後、戻せる状態で一度試して、やめてどうだったのかを検証するなど、丁寧に行うことがポイントです。

1. 会議を見直して効率アップ

多くの人が貴重な時間を割いて集まるのが、会議です。できる限り効率よく有意義な会議を、対面で行うにはどうしたらよいのかをまとめました。

有意義な会議で活動の意欲アップへ

対面で行う会議は、参加者が同じ空間で顔を合わせることができるため、以下のような効果があります。

【対面会議の利点】

- ・事実確認がしやすい
- ・目的を共有しやすい
- ・効果的に物事を決めやすい
- ・意思の疎通が図りやすい
- ・信頼関係を高めることができる
- ・結束力を高めることができる
- ・活動への意欲が出やすい

有意義な会議のためにできること

会議の目的や議題を共有してから始める

参加者が同じゴールを見据えられると、会議の質が高まり、効率が上がります。

関係する人を厳選して会議をする

参加者に当事者意識が芽生え、有意義で深い話し合いが可能になります。話の脱線も減ります。聞くだけの会議や関係のない会議、脱線の多い会議は、参加するだけで疲れてしまいます。

司会者、進行役を決めておく

会議を円滑に進めることができます。

終了時間を決めておく

終わる時間を決め、参加者と共有してから会議を始めると、捗ります。

分かりやすい資料を用意する

厳選された分かりやすい資料は、進行を助けます。

会議の記録・議事録などを作る

記録を作成、共有することで誤解を減らしましょう。

ホワイトボードを使う

ホワイトボードなどで進捗を整理しながら進めると、参加者の理解が進み、効率も上がります。



会議の見直しチェックリスト

1. その会議は必要ですか？

開催することが目的になっていませんか。会議は、円滑な自治会運営のために行います。

2. その会議の目的は何ですか？

情報伝達、意思決定、アイデア出しなど、会議の目的は多様です。報告や情報提供は書面を配付して済ませることも可能です。

3. 準備はできていますか？

会議をスムーズに進行するために準備が必要です。書類や資料が見やすい会議は能率的です。

4. 会議時間は適正ですか？

結果が出れば、早く終わってもよいのです。

5. 参加者が意見を言える会議ですか？

様々な人がせっかく集まる場です。より有意義な自治会運営のためにも、活発な対話による建設的な場になることが望ましいです。

6. 会議の開催日時、回数は適正ですか？

働いている方でも参加しやすい日時に開催できているかを確認しましょう。そして、その頻度がふさわしいかを、再検討してみましょう。違う会議なのに参加者がほぼ同じなら、同じ日に時間をずらして開催することも可能です。



みんなの会議のコツ

毎月集まることはやめて、必要な時に開催するようになりました。

招集理由が分からないままに集まっていた出席者を見直して、人数を減らしました。

全体会を行ってから各部会に分かれ、詳細について検討するようにしています。

組長会議の所要時間は15分にしています。会議の前にLINEで連絡を入れています。

必ず全員に発言してもらうようにしています。

LINEのグループを使い、情報共有を頻繁にして、コミュニケーションを図っています。

発言がしやすいように会議の座席を変えました。対面のスクール形式から、椅子を持ち寄って円陣を組むようにしています。

自治会会議 × デジタル手段 事例集

会議資料を事前にデータで共有

会議当日に資料をもらっても、読む時間がありません。事前に資料を配付し、目を通してから会議に参加してもらうと、議題への理解も進み、時間の短縮にもなります。

【データの共有方法 例】

- ・PDFにしてLINEのグループで共有
- ・PDFをGoogleドライブなど、オンライン上に保存して、リンクをLINEやメールで共有



役員会議はオンラインで

定例会は対面で行いますが、その前に三役が参加する事前会議は、Zoomを使って効率化を図っています。会議の種類によって使い分けるのはとてもよいですね。



オンラインで会議をライブ配信

働いている方によっては、会議の出席が難しい方もいます。対面の会議をオンラインで見たり聞いたりできるようにすると、働いている人も参加しやすくなります。

【オンラインライブ配信の手段 例】

- ・LINEのビデオ通話
- ・Google Meet
- ・Zoom
- ・Skype など
- ・Cisco Webex ※プランや参加人数、時間などによってできることや料金などが異なります。

会議の環境を整える

集会所がない自治会や他の地区と共有している自治会、老朽化により建替や修繕が必要な自治会もあります。静岡市には、集会所の借用や建替に関する補助があります。詳しくは右記までお問合せ下さい。



【問合せ】静岡市市民局市民自治推進課
054-221-1265

2. 行事・活動を見直す

行事や活動は、組織や役員と比べると、見直しがしやすいです。しかし、見直しにより本来得られていた効果がなくなって活動が衰退したり、以前できていたことができなくなったりすることがあります。見直しの要点をまとめてみました。

現状を把握してから見直しへ

全体像が分からないと、見直しも捗りません。自治会だけでは少なく見える活動数が、地域全体ではとても多かったり、不要だと感じた活動が思いもよらない波及効果を生んでいたりすることもあります。事前に全容を把握したり、事実を確認したりすることは重要です。

1年ではできない、1人でもできない

1年で終わらないのが見直しです。見直した結果が分かるのは、翌年以降です。翌年に、検証やふり返る機会を設けることは、とても大切です。長年、様々な人が関わり、作り上げてきたのが、今の地域です。見直しには抵抗がある人もいます。決めることは必要ですが、独断による見直しは、問題になることもあります。まずは役員や実行者で検討し、見直しが必要だという事実とともに住民に改善案を示すことが効果的です。判断に困ったら、以前の会長や役員に聞いてみると、助けになることがあります。



見直しポイント

調べる・数値化してみる

見直しをする根拠や、必要性について調べましょう。なぜ見直しが必要なのか、正しく説明ができないと理解を得られません。地域は人のコミュニティなので、思い込みやうわさが多いことも事実です。
〔説明のための材料 例〕
人口の増減、子どもの数の増減、世帯数の変化、所要時間、運営人数、費用など

数えてみる

1年間にどのくらい会議や行事、活動があるのかを書き出します。会議も活動に入ります。全てを書き出して数えてみると、人口に対して活動が非常に多かったり、思わぬ重複が見つかったりします。

関係する人に聞いてみる

運営者や参加者に現状を聞いてみましょう。思い込みやうわさとは異なる事情が見えてくる場合があります。当事者にしか分からないことも多いです。

やめる前にできること

いつでもやめることはできます。その前にできることは試してみましょう。戻すことを前提に「試して休んで様子を見る」ことも有効です。

防災訓練の見直し

駿河区丸子新田自治会は、継続して訓練の見直しを行っています。各地で起きている災害を自分事として捉え、備えの見直しへつなげたり、共助を向上させたりすることが目標です。見直しを行った結果、令和5年の訓練には、380名以上が参加し、若いファミリーが多かったそうです。実施後のアンケートの満足度も高く、毎年95%以上が「すごく良かった・良かった」と回答しています。

〔見直しの経緯〕

年度	訓練内容・変更の根拠
令和2年	組で集まってから、公園へ集まる参集訓練。
令和3年 令和4年	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため感染症対策が必要になる。 ・「公園に集まれば達成」になっていて、訓練とは言えず、改善が必要だった。 ・若い世代の参加が少ない。 ・自分事として防災について学んでほしい。 <p>コロナ禍のため、参集訓練は、組で集まる安否確認のみにした。令和4年は訓練を増やし、黄旗が出ていないお宅を訪問する安否確認も行った。同時に分散自由参加型のスタンプラリーを2年間開催。地区内の防災ポイントを好きな時間に回り、困った時の豆知識を学んだり、給水体験をしたりした。</p>
令和5年	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代の参加が増加。 ・満足度を高めるために、参加者の声を反映した多くの防災知識を得られる内容へ変更。 <p>キーワードを集めるウォークラリーにして、より防災知識を高めてもらえる内容へと変更。避難所スペースの体験や、被害が心配な、水害対策についての紹介なども行った。</p>

スタンプラリーなどの参加しやすい内容をきっかけに、参加したら楽しく防災訓練をして、防災の知識や意識が向上するように、心がけているそうです。



〔スタンプラリーの様子〕防災倉庫の前で、役員が参加者に資機材の説明をします。防災トイレの使い方を写真で掲示する工夫も見られます。(令和3年)

ここで、何やるの？

- *各ご家庭***
 - ◎黄旗掲示(雨天決行)
8:30までに「わが家は大丈夫」の黄旗掲示
- *丸子新田公民館***
 - ◎バッククッキング
こんな風に食事を作る事ができるよ
試食の持ち帰り、あります
- *神明宮***
 - ◎水害対策紹介
ごみ袋で簡易水のうや段ボール等を使っての水害対策の紹介
- *丸子新田公園***
 - ◎防災倉庫見学
どんな物が保管されているかのぞいてみよう
 - ◎避難所スペース体験
避難所での、1人分のスペースを体験
 - ◎消火器体験やってみよう
非常時、慌てず操作できるように
使い方を覚えておこう

〔ウォークラリーのしおり〕防災時に役立つ体験を主に内容を見直しました。ごみ袋で水のうを作ったり、バッククッキングで食事を作ったり、避難所スペースを体験したりするなど、かなり実践的です。

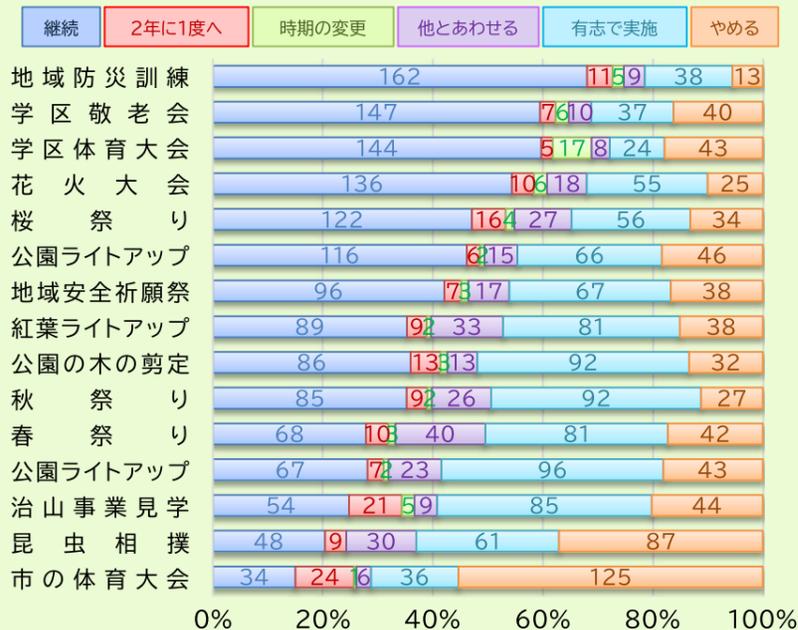
住民にアンケートで「行事・活動」の今後を聞いて見直しへ

ある地域で、中学生以上の全住民を対象に地域活動についてのアンケートを実施しました。その際に、地域で実施されている行事・活動について、今後どうしたらいいのかをたずね、結果を参考に行事の見直しを行いました。

〔見直しの選択肢〕

- ・継続する
- ・2年に1度に変更する
- ・時期を変更する
- ・他の行事とあわせる
- ・有志で実施する
- ・やめる

アンケート結果に「やめる」が多くても、すぐやめるのではなく、他の行事とあわせたり、関係者の意見を参考に段階的に検討を重ねたり、一度休んでみたりするなど、慎重に見直しを進めています。



みんなの行事や活動の見直し

若い世代の防災訓練への参加が少ないので、町内の祭りに、防災資機材体験コーナーを設け、防災体験をしてもらうようにしました。

地域の運動会を高齢者も参加できるニュースポーツの大会にして、スポーツを楽しみ、交流する場としています。

祭りの調理は負担が大きいので、キッチンカーに協力してもらうようにしました。目新しいので評判はよいです。

高齢化により運営が大変なので、地域主催のイベントはやめて、地域で行われている他団体のイベントに町内で参加をし、手伝うようにしています。

運動会に担架運搬やバケツリレーなど、防災メニューを入れて、楽しみながら防災訓練ができるようにしています。

20名で月1回実施していたパトロールを、10名ずつに分けて、月2回に回数を増やし、見回る回数を倍にしました。

3.見直し表の活用

書面化することで、活動は可視化されます。その結果、漠然としていた見直しについて、具体的に検討することが可能になります。右記「見直しガイド」を参考に、8ページの「地域活動の見直し表」を作成し、みなさんの地域活動を見直してみてください。

8ページにひな型の見本が掲載されています。加工してお使いください。

見直し表の記入例

← 過去(去年) 現在 未来(来年) →

昨年度はどうだったのかを記載 来年度はどう見直したらいいのかを記載

地域活動の見直し表 (記入例)

団体名: ○○○

令和 5 年度時点		令和 7 年度素案	
目的と活動内容		目的と活動内容	
4月	4/4 組長会 4/20 総会・役員引継ぎ	4月	4/4 組長会 4/20 総会・役員引継ぎ
5月	5/10 側溝清掃 5/20 組長会	5月	5/10 側溝清掃・懇親バーベキュー 5/20 組長会
6月	6/20 組長会	6月	6/20 組長会
7月	7/18 地域安全パトロール 7/20 組長会	7月	7/18 地域安全パトロール・組長会
8月	8/7 市道草刈 8/13 集会所清掃 8/15 夏祭り 8/20 組長会	8月	8/7 市道草刈・集会所清掃 8/15 夏祭り 8/20 組長会
9月	9/10 地域清掃 9/15 敬老会 9/20 組長会	9月	中旬 ○○地区と合同で敬老会 9/20 組長会
10月	10/6 一斉清掃 10/15 防災講座 10/20 組長会	10月	10/6 一斉清掃 10/15 防災講座・組長会
11月	11/20 組長会	11月	11/20 組長会
12月	12/1 地域防災の日・防災訓練 12/20 組長会	12月	12/1 地域防災の日・防災訓練 12/20 組長会
1月	1/1 新年会 1/15 役員改選選挙 1/20 組長会	1月	1/1 新年会 1/15 役員改選選挙 1/20 組長会
2月	2/10 集会所清掃 2/20 組長会	2月	2/10 集会所清掃 2/20 組長会
3月	3/20 組長会 3/30 懇親会	3月	3/20 組長会・懇親会
役員	会長(1名・1年) 副会長・会計(1名・1年) 組長(7名・1年)	役員	会長(1名・2年) 副会長(3名・2年) 会計(1名・2年) 組長(7名・1年)
役員の平均在職年数	1年	役員の平均在職年数	1年→2年へ
団体の抱える悩み	特定の人に役職がいつても同じ人がばかりが参加している 高齢化が進み、防災防犯が心配	団体の抱える悩み	特定の人に役職がいつても同じ人がばかりが参加している 高齢化が進み、防災防犯が心配
備考		備考	

行事・活動・会議の見直し案

- 側溝清掃後に交流のためのバーベキュー
- 安全パトロールには組長がほぼ参加する→終了後に組長会をやる
- 市道草刈と集会所清掃は同じ日に行う
- 防災講座の際に組長会を行う
- 敬老会を他の地域と合同でやってみる
- 3月の懇親会を組長会の後に行う
- 組長でLINEのグループを作り、連絡の負担軽減(LINEが軌道にのったら毎月の組長会を隔月へ減らしたい)

組織・役員にまつわる見直し案

- 組を合併し、7組から5組に減らす→まず、素案を作り、各組へ説明する
- 配布物を基本、月1回にする
- 役員の内職を2年にし、2年目は見直しを実行ができるようにする(まず素案を作成)
- 副会長を3名にして、会長の仕事を振り分ける

昨年度の活動内容(行事・活動・会議)を記入します。

会議も活動の一つです。記載して見直しを検討しましょう。

役職を書き出すと、地域内に思う以上に役職が多いことが分かります。他の団体と一緒に見直しを行うと効果的です。

案でも構わないので、書き出します。明記することで検討が進む場合があります。案、検討中試行中など、進捗状況を記入するとなおよいです。

見直しガイド



ただ単に見直すのは、難しいことです。この「見直しガイド」を参考に、8ページの「地域活動の見直し表」を作成して、行事や活動を見直しをしてみましょう。

来年度の見直し案を記入します。今年度の役員経験をもとに、どうしたらよりよくなるのか、案でも構わないので、書いてみましょう。

見直しなどの加筆・変更点は、マーカーで線を引くなど、印をつけてわかりやすく表記し、関係者で共有しましょう。

役職と人数、在職年数を書き出すことで検討がしやすくなります。行事や活動と同様に、見直しが必要なことです。

1. 何のため、誰のため? ~みんなで確認しましょう~	
行事、活動の目的は何ですか?	続けることが目的になっていませんか。今一度、目的を確認してみると、新しい気づきがあります。
参加者の年代が変わっていませんか?	子どもが減り、高齢者が増えています。同じ活動を続けることで、目的が達成されますか。
参加者は減っていませんか?	子どもは減り、高齢者の独居は増加しています。自営業者は減り、会社員は増え、共働き世帯も多いです。参加者が減る要因は多岐にわたります。住民が必要としている内容への移行が必要かもしれません。
2. 活動内容を確認 ~詳細について検討しましょう~	
目的と内容は合っていますか?	交流が目的なら、交流の場を確保した方が効果が上がりませんか。活動が目的なら、会議やイベントよりも、活動ができる時間を増やしませんか。
内容を変えた方が、高い効果を得られませんか?	住民が必要としている問題に、直接対応できる活動の方が、効果は高いです。内容の見直しを毎年行いましょう。
どうせやるなら、しっかりやりませんか?	適当にやっても、本気でやっても、同じ時間がかかります。ならば、結果が出る内容へ変更しませんか。
3. あわせる、たまにやる、やめてみる~では具体的にどうしたらよいか?~	
他の団体や他の地区が、同じような行事や活動を実施していませんか?	人手が減り、高齢化も進み、以前と同じことを複数回こなす余裕はなくなっています。あわせる、交互にするなど、重複の解消を試みませんか。
他の団体や他の地区と一緒に実施した方が効率的、効果的ではありませんか?	あわせることで、負担を減らし、質や効果を上げることも可能です。やめてしまうなら、併せて残すことも検討しましょう。
頻度は適切ですか?	2年に1回にする、隔月にするなど、間隔を空けてもよい活動や行事はありませんか。休んでみる、間隔を空けてみることも一つの方法です。
誰がやるべき活動でしょうか?	自治会がやるべきことと他の特定の団体がやるべきことが混同していませんか。活動の主体を明らかにして、自治会としての関わり方を見直すことも必要です。

出来上がった見直し表は、来年度の計画に反映します。見直し案が可視化されたので、会長が変わってもこの見直し表を引き継ぐことで、引き続き見直しを行うことが可能になります。会長によっては見直しをしない年があることも考えられます。文書で残しておくことで、その先の会長が検討することもできます。地域は1年では変わりません。1人で変えることにも限界があります。引き継いでいける仕組みが大切です。

「しずおか自治会マガジン」
令和6年度号付録

【発行日】令和6年11月
【発行元】静岡市 市民局
市民自治推進課
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-221-1265
【企画・編集・デザイン】里山くらしLABO

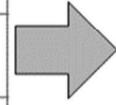
QRコードからご覧いただけます。ダウンロードも可能です。

地域活動の見直し表

団体名:

©里山くらしLABO 2019

令和	年度時点
目的と活動内容	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
役職	
役員の平均在職年数	
団体の抱える悩み	
備考	



令和	年度素案
目的と活動内容	
4月	
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
役職	
役員の平均在職年数	
団体の抱える悩み	
備考	

行事・活動・会議の見直し案

組織・役員にまつわる見直し案